

Japan O'pen BIC Class 全日本選手権 2018

(兼 World O'pen Cup 2019 代表選考レース)

主 催 日本オープンビククラス協会 (JOBICA)
後 援 神戸新聞、NPO 法人兵庫県の水域の秩序ある利用を進める会
協 力 (株)ウインドワード
協 賛 (株)JIB、ビクススポーツ(株)、伊藤園
大会 期 日 2018年8月24日(金)~26日(日)
開 催 地 兵庫県西宮市西波止町 1-2 ウインドワードオーシャンクラブ

《 帆 走 指 示 書 》

1. 規則

本大会は、次の優先順位に従い下記の規則を適用する。

- 1.1 本レガッタには「セーリング競技規則2017-2020(RRS)」に定義された“規則”を適用する。ただし、下記で修正・追加したものは除く。
- 1.2 最新のクラス規則に定義された「オープンビク標準大会規則2016 (O'pen BIC Standard Event Rules 2016)」を適用する。
- 1.3 RRS付則Pにおけるペナルティー・システムは適用されない。どのようなRRS 42ペナルティー違反もアンパイアによって赤色旗で信号が発せられる。RRS 42の違反のペナルティーは、艇がその大会で受けたペナルティーの数とは関わりなく、1回転ペナルティーである。
レース委員会が“O旗”を掲揚した場合、パンピング、ロッキング、ウーチングを許可する。この項は、RRS 42およびP5を変更している。
- 1.4 World Sailing によって承認され、全てのレースを水上で審判することを許可する Open Bic Addendum Q を適用する。
- 1.5 レース公示と帆走指示書が矛盾する場合、本帆走指示書が優先する。この項はRRS 63.7を変更している。
- 1.6 本大会において適用するすべての規則において、次の通りとする。
 - 1.6.1 [DP]: プロテスト委員会(またはアンパイア)の裁量でペナルティーが決定される規則
 - 1.6.2 [NP]: この規則の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は RRS 60.1(a)を変更している。

*第 1.2、1.4 項の規則は、大会に先立ち World Sailing のサイト <http://www.sailing.org/25964.php> からダウンロードできる。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板に掲示する。

3. 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、艇長会議にて説明し、公式掲示板に掲示する。
- 3.2 海上において帆走指示書を変更する場合がある。この場合はレース委員会信号艇に音響3声と共にL旗を掲揚し、口頭および/または掲示板にて各艇に伝達する。レース委員会は指示が伝わる努力をするが、いかなる口頭の指示も、それが伝わるか否かは各艇の責任である。この項は RRS 90.2(c)を変更している。

4. [DP] [NP] チャーター艇

- 4.1 チャーター艇が準備される。競技者は、次のことを除き、どのような方法であっても、改造してはならず、また改造するような原因を作ってはならない。
 - (a) 糸を含む風向計を艇のどこにでも結びつけたり、テープで貼り付けたりしてもよい。
 - (b) 艇体、センターボードおよびラダーを水のみで洗ってよい。
 - (c) 接着テープを喫水線より上のどこにでも用いてよい。
 - (d) クラス規則に従っている限り、調整できるように作られた全ての艀装品または装備を調整してよい。
- 4.2 帆走のために艇と共に準備された全ての装備は、海上にいる間、艇内になければならない。
- 4.3 ハルおよびデッキに直接パーマネント・インクでマーキングしてはならない。
- 4.4 艇は、準備された状態に樹脂・油脂やポリマーのような物質を塗布してはならない。
- 4.5 上記の指示に1つでも従わない場合のペナルティーは、指示に違反して帆走した全てのレースで失格とする

場合もある。

- 4.6 競技者は、わずかであったとしても、装備の損傷または紛失を、艇を乗り換える際または艇を着岸後、直ちにレース委員会に報告しなければならない。この指示違反のペナルティーは、競技者がこれに従うために明らかな努力をしたとジュリーが納得した場合を除き、直前のレースを失格とする。
- 4.7 艇または/および装備が損傷した場合の修理費用は競技者が負担しなければならない。
- 4.8 装備を紛失した場合、競技者はその新たな取得のための実費を負担しなければならない。
- 4.9 競技者は、出艇・離岸・着岸に際しては、艇を抱え、引きずることなく船底の損傷等のないよう、選手同士互いの扶助、協力者・支援者の援助により、互いに他艇を援けるよう努めなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、大会本部のポールに掲揚される。
- 5.2 AP 旗が、陸上で掲揚された場合、レース信号 AP 旗の「1分」を「30分以降」と置き換える。

6. レース日程

6.1 スケジュール

8月23日 (木)	12:00 13:00~ 16:00	自艇参加艇搬入締切り 自艇参加艇計測
8月24日 (金)	8:30~ 9:00 9:00~ 9:50 10:55	大会受付、艇抽選 開会式、艇長会議 最初のレース・スタート予告信号時刻
8月25日 (土)	8:45~ 9:00 10:15 17:00~	受付、艇抽選 最初のレース・スタート予告信号時刻 懇親ウエルカム・パーティー
8月26日 (日)	8:45~ 9:00 10:15 16:30~	受付、艇抽選 この日の最初のレース・スタート予告信号時刻 表彰式、閉会式

- 6.2 本大会は3日間のシリーズ戦とし、15レースを予定する。1日に行うレース数は最大6レースとする。
- 6.3 すべてのディヴィジョンを同一レースで行う。
- 6.4 最終日は 15:00 より後のスタート予告信号は発しない。

7. クラス旗

クラス旗は、O'pen BIC 旗を用いる。

8. レース・エリア

付属図 A(大会会場およびレース・エリア)にレース・エリアの位置を示す。

9. コース

9.1 コース

付属図 B(コース図)は O'pen BIC のレース中に予測されるコースの形態を示している: Speed(スピード)、Speed Slalom(スピード・スラローム)、O'pen Cross(オープン・クロス)(360°回転、転覆、フリースタイル動作)を含む。また、異なる場所を結ぶ Adventure races(冒険レース)を行うこともある。

これらのコースは単なる例であり、各レースの最終的なコースは当日、艇長会議の際に説明する。

※フリースタイル動作には、スタンディング・ライド、パンピング、ロッキング等の動作が含まれる。

- 9.2 冒険レースを除く各レースの所要時間は、フリートの間艇が20-25分でフィニッシュすることを目標とする。

10. マーク

- 10.1 全ての回航マークはピンク色の直径 15 センチ・高さ 90 センチの円筒形ブイである。
- 10.2 スタート・マーク並びにフィニッシュ・マークは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇とポートの端にあるオレンジ色の直径 10 センチ・高さ 90 センチの円筒形ブイである。

11. スタート

- 11.1 レースは、RRS 26(レースのスタート)に従いスタートする。
- 11.2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールとポートの端にあるスタート・マークのコース側の間とする。
- 11.3 スタート信号の4分より後にスタートする艇は「スタートしなかった(DNS)」と記録する。この項は RRS A4 を変更している。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、青色旗を掲揚したフィニッシュ・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールとフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

13. タイム・リミット

先頭艇が帆走指示書に定めるコースを帆走してフィニッシュ後、10分以内にフィニッシュしなかった艇は、「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録する。この項は RRS 35、A4、および A5 を変更している。

14. ペナルティー・システム

- 14.1 抗議は受け付けない。Open BICのレース中のインシデントに対するジャッジは水上で解決し、審問をプロテスト・ルームでは行わない。
- 14.2 オン・ザ・ウォーター・アンパイアは“ペナルティー旗(赤色旗)”を採用する。
- 14.3 [DP] 規則に違反したと現認された艇は、セール番号を特定され、ペナルティー旗をアンパイアにより示される。そして特定された艇はできるだけ早く他艇から十分に離れたのち、1回の360°回転(どんな順序でも1回のタックとジャイブ)を含むペナルティー回転を行わなければならない。最初の安全な機会に、このペナルティーを履行しなかった場合はそのレースで失格となる。
- 14.4 [DP] RRS 第2章、第3章、および第4章の基本的な規則の繰り返しの違反、またはアンパイアに“危険”とみなされる帆走は、アンパイアから黒色旗を示され大会から排除される結果となることもある。
- 14.5 もしルールについてははっきりとわからないか、説明してもらう必要がある場合、競技者は、実際のレースが進行している外側でいつでも、アンパイアに近づいてもよい。アンパイアの判決は最終である。
- 14.6 真に公正な競技精神のもとに、競技者は自身でセーリングを制御することを求められている。すなわち、もしこの簡単な規則の一つに違反したとわかったならば、そのときは違反がアンパイア・ボートに見られたかどうかに関係なく、1回のペナルティー回転をするのがよい。
- 14.7 本項は、RRS 44、60.1、63.1およびRRS付属文書Q(アンパイア制フリート・レース)をオープンビッククラスのために変更修正したクラス規則を変更している。

15. 各シリーズの得点

- 15.1 各シリーズが成立するためには、2レースを完了することを必要とする。
- 15.2 RRS 付則 A の低得点方式を適用し、レースをフィニッシュしたそれぞれの艇には、フィニッシュ順位に等しい得点を記録する。
- 15.3 レース委員会は、天候、時間の制約、その他関連する諸要因を考慮した妥当な時点で、いつでもシリーズを打ち切ることがある。
- 15.4 艇の各シリーズの得点の計算において、得点の除外は行わない。この項は RRS A2 を変更している。

16. 全シリーズの得点

全シリーズの得点は、完了レース数が7レース未満の場合には得点を除外することなく、レース数が7~12レースの場合には艇の全シリーズ得点は、もっとも悪い得点を除外したレース得点を、12レース以上完了した場合にはさらに悪い得点を除外したレース得点を合計する。この項は RRS A2 およびレース公示 15・1)・②を変更している。

17. [DP] [NP] 装備の交換

艇の損傷または紛失による装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可しない。交換の要請は最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

18. [DP] [NP] 安全規定

- 18.1 海上にいる間、競技者および支援艇に乗船している者は衣服の着替えのための短時間を除いて個人用浮揚用具(ライフジャケット)を着用しなければならない。この項は RRS 第4章前文および 40 を変更している。
個人用浮揚用具は、最低基準 EN393:1995(CE50Newtons)、USCG Type III、AUS PFD 1、または同等のものでなければならない。
- 18.2 レース委員会および/またはアンパイアは、レース艇が帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合には、艇(競技者)にリタイアを命ずることが出来る、強制救助を行うことができる。この措置に対する艇による救済要求の根拠にはならない。この項は RRS4 および 62.1(a)を変更している。
- 18.3 艇(競技者)は、救助を求めるときには、手のひらを大きく広げて腕を大きく左右に振ること。
- 18.4 レース委員会信号艇に N/H 旗、N/A 旗、AP/H 旗または AP/A 旗が掲げられたときには、速やかにハーバーに帰ること。
- 18.5 地震が発生したときには、近くの海岸陸上に避難し、その後必要なら高所に避難すること。
- 18.6 主催団体は競技者にビブ(ビブス、識別用ベスト)の着用を指示することがある。その場合、ビブは主催団体が提供する。この場合、各選手のビブの番号は大会期間中を通じ同一である。
- 18.7 競技者は、出艇に際しては出艇申告用紙に、レース終了後帰着したとき速やかに帰着申告用紙にサインしなければならない。また、ビブ(ス)が支給されていた場合全レース終了時に、主催者受付に返却しなければならない。
- 18.8 来年度のワールドにおいては、ヘルメットの着用を義務付けています。本大会においても、これの着用を妨

げません。(参考:2019ワールド公示第 11.2 項; 競技者は、衣服を交換している間の短時間を除いて、海上にいる間は EN1385 または EN1077 の最低基準に従ったヘルメットを着用しなければなりません。)

19. [DP] [NP] 支援艇

- 19.1 支援艇は、「レース申告受付所(大会受付)」で入手できる「支援艇許可申請書」に記入のうえ、大会受付時に「レース委員会事務局」に提出し許可を受けること。
- 19.2 出艇から帰着するまでの間、「白色旗」を明確に掲揚しなければならない。「白色旗」はレース委員会事務局で用意する。大会終了後、返却しなければならない。
- 19.3 支援艇の出艇および帰着申告は署名方式で行う。署名用紙は「レース申告受付所(大会受付)」に用意される。支援艇の出艇申告は、艇長会議終了後に受け付ける。支援艇の帰着申告は、その日の最終レースの終了後、またはレース委員会が、「本日これ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から60分までとする。
- 19.4 支援艇は、艇の帆走およびすべての運営艇の運航を妨げてはならない。また、最初にスタートする予告信号時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしれないリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発した後2分間までは、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。
- 19.5 引き続きレースが行われる場合、支援艇は、艇がフィニッシュしてから次の予告信号が発せられるまでの間、次のスタート・ラインの外側で競技者への飲食物およびごみの授受支援を行うことができる。ただし、レース委員会からの要請に基づく場合を除き、その他の物品の授受や、艇の曳航等の支援行為を行ってはならない。
- 19.6 迅速なレース運営のためおよび天候等の状況により、レース委員会から各支援艇に救助等の要請を行う場合、レース委員会信号艇に「白色旗」を掲揚するか、運営用無線で救助要請を行う。

20. [DP] [NP] ごみの処分

競技者並びに本大会への参加者は海上にゴミを捨ててはならない。ごみはレース委員会艇や支援艇に渡してもよい。

21. 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信並びにすべての艇が利用できない無線通信の受信をしてはならない。無線通信には音声やデータの通信を含み、この制限は携帯端末・電話にも適用する。

22. 賞

レース公示に従い、Japan O'pen BIC Cup ウイナーおよび各ディヴィジョンの上位者に賞状が与えられる。

23. 責任の否認

この大会の競技者は完全に自分自身の責任で参加する。RRS 4(レースをすることの決定)参照。主催団体は、大会前後・期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。また大会に参加する条件として、各競技者は、大会前後・期間中の物的損害または人身傷害(死亡を含む)に対するすべての賠償請求権を放棄しているものとする。

24. 保険

この大会への参加者は、大会レース公示第 23 項に示すとおり、大会で生じる人身傷害、死亡、または他の艇や参加者に対する損害賠償に対応するために十分な保険に加入していなければならない。

25. その他順守事項

改めて本帆走指示書に示していなくとも、レース公示第 25 項に示す承認事項も遵守してください。